

新しい宮前市民館・図書館の移転・整備に向けた取組

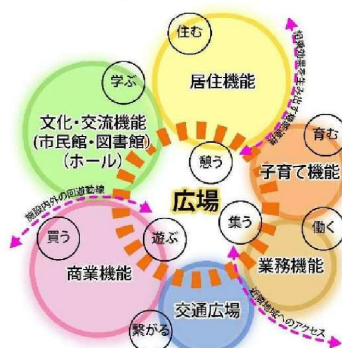
新しい宮前市民館・図書館について

川崎市では、平成31(2019)年3月に策定した「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」(以下「再編整備基本方針」という。))に基づき、宮前市民館・図書館の鷺沼駅前周辺への移転・整備に向けた取組を進めています。

(参考) 現時点での検討イメージ ※準備組合提供資料



導入機能の配置イメージ



機能連携イメージ

「新しい宮前市民館・図書館基本計画」の策定

これまで市民の皆様からいただいたご意見等を踏まえ、令和2(2020)年8月に「新しい宮前市民館・図書館基本計画」を策定しました。

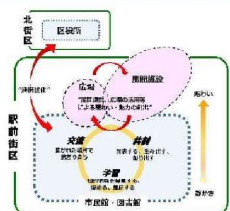
【新しい宮前市民館・図書館の基本理念】

「市民の力で成長し続ける、宮前区らしいスタイルの市民館・図書館」

～多様な人々が交流し、つながり、新たなコミュニティ・生活・文化・教養を創出し、地域への愛着を育む場づくりをめざして～

【新しい宮前市民館・図書館の基本方針】

行きたくなる 市民館・図書館	まちに 飛び出す 市民館・図書館	地域の“チカラ” を育む 市民館・図書館	空間・機能が “融合”する 市民館・図書館	区役所・民間等と “連携”する 市民館・図書館
-------------------	------------------------	----------------------------	-----------------------------	-------------------------------



新しい宮前市民館・図書館の機能イメージ図

交流	気軽に訪れやすく、明るく、開かれた雰囲気の中で、イベント等を通じて、人が自然に集まり、交じり合うことにより、つながりや賑わいを創出する
共創	創作・体験・発表等の多様な市民活動を支え、それぞれの人や活動がつながるとともに多くの人々が多彩な文化・芸術活動等に身近に触れることにより、地域の文化・教養等の新たな価値を生み出す
学習	本や講座、講演、地域情報等を通じて、人が集まり、つながりながら学び合う活動により、知的情報を発見する、深める、集積する

管理運営計画の策定に向けた検討

新しい宮前市民館・図書館で行われる事業や使用ルール等を定める管理運営計画を市民の皆様と一緒に考えるために、令和2(2020)年8月から令和3(2021)年7月まで全9回の「あたらしい宮前市民館・図書館を考えるワークショップ」を開催しました。

小中高校生・大学生からベテラン世代まで、延べ約250名の方にご参加いただきました。

事業
どのような事業を行うのか？

規則
どんなルールだと使いやすい？

組織
必要な人・体制・組織は？

広報
どうやってアピールする？

収支
どれくらい費用がかかるのか？

評価
どう評価・チェックする？



ワークショップの様子

ワークショップの検討内容

回	日にち	テーマ	内容
第1回	令和2年8月22日	やりたいことを実現するための施設にするには？①	・新しい施設でやってみたいことを考える ・やってみたいことを施設機能ごとに分類する
第2回	令和2年9月12日	やりたいことを実現するための施設にするには？②	・第1回で考えた「やってみたいこと」を実現するための諸室の使い勝手(機能・設備・備品)を考える
第3回	令和2年10月3日	宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える	・宮前区のじまん等について意見を出し、宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える
第4回	令和2年11月7日	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えたよう～	・施設の主な機能・諸室ごとに、やってみたい企画・イベントを考え、年間スケジュールを考える
特別編	令和2年11月28日	他都市の先進事例の施設見学	・大和市立中央図書館 ・町田市立川崎の交流館
第5回	令和2年12月5日	みんなのためのルールを考える①	・施設のルールを考える① ・市民館・図書館の両方に共通するルール(開館時間、休館日等)、図書館に関するルール(貸出・飲食・会議・開館前等)を考える
第6回	令和3年4月17日	みんなのためのルールを考える②	・施設のルールを考える② ・市民館に関するルール(貸出時間区分、物品販売、飲食、フリースペース等)を考える
第7回	令和3年5月22日	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう	・複合施設のメリットを考慮した上で、各施設間で連携する事業にはどんなアイデアがあるか、そのためにはどんな運営が求められるのかを考える
第8回	令和3年6月26日	「まちに飛び出す」を考える	・「みんなに施設を知ってもらうには？」を考える ・施設での活動をまちにひろげるには何をしたらよいかを考える
第9回	令和3年7月31日	「地域の“チカラ”を育む」を考える ～どんな風に参加する？～	・市民の皆様が新施設とどのように関わっていきたいかを考える



ワークショップでいただいたご意見等を踏まえ、新施設で行われる事業・サービスの内容や効率的・効果的な提供手法等について、「(仮称)新しい宮前市民館・図書館管理運営計画」を策定する予定です。

新しい宮前市民館・図書館の「これまで」と「これから」

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2～8年度	令和9年度～	令和14～18年度
再編整備基本方針策定	基本計画策定		設計・管理運営計画策定	整備工事	令和14年度 新宮前市民館・図書館OPEN

宮前区のミライづくりプロジェクト

鷺沼駅周辺の再開発を契機として、「新宮前市民館・図書館・区役所の移転・整備」、「現区役所等施設・用地の活用」、「向丘出張所の機能のあり方」など、宮前区全体をより良いものにしていく取組を進めています。

詳しくは、[宮前区 ミライづくり](#) 検索

お問い合わせ

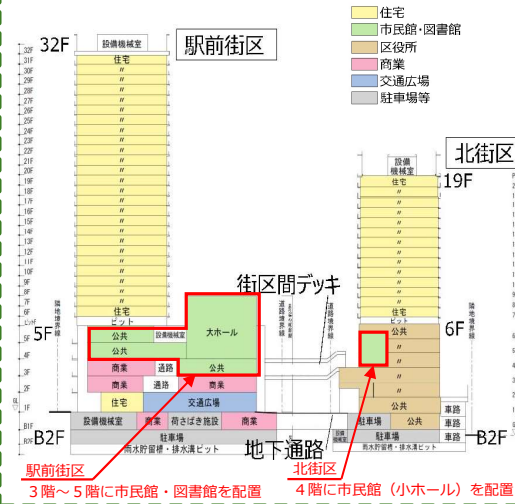
川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
〒210-0005 川崎市川崎区東田町5番地4
TEL 044-200-1981 FAX 044-200-3950 Eメールアドレス 88syogai@city.kawasaki.jp

取組状況はホームページなど
でお知らせしています！



設計の検討状況について

■計画断面図



■空間づくりのポイント

「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、魅力的な空間づくりや事業・サービスの充実に向けて、諸室の配置計画等の検討を進めるとともに、官民の垣根を超えたフレキシブルな施設利用や、複合施設全体として一体感が感じられる運営等の工夫について再開発組合と協議を進め、魅力的な施設づくりを進めています。

気づき・つながり

市民館と図書館の機能を融合した配置とし、新たな気づきや利用者同士のつながりを誘発する

気軽に

飲食や会話が可能なスペースを設け、気軽に立ち寄って利用できる

フレキシブル

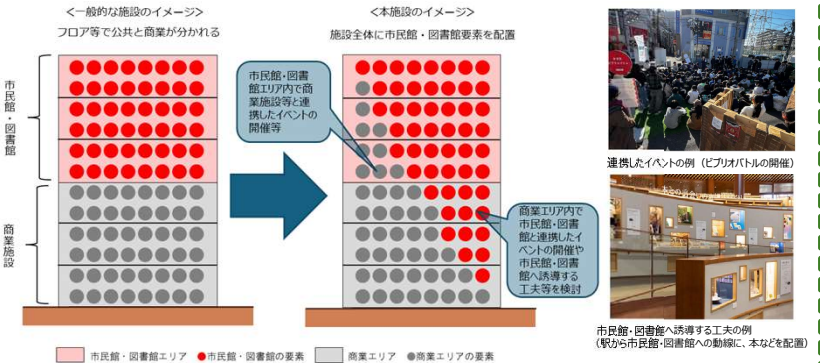
市民館の会議室等を読書や学習できるスペースとして開放するなどフレキシブルに施設を利用する

官民連携

市民館・図書館と商業施設が相互に関わりを深め、相乗効果を生み出しながら、官民連携による事業・サービスを提供する

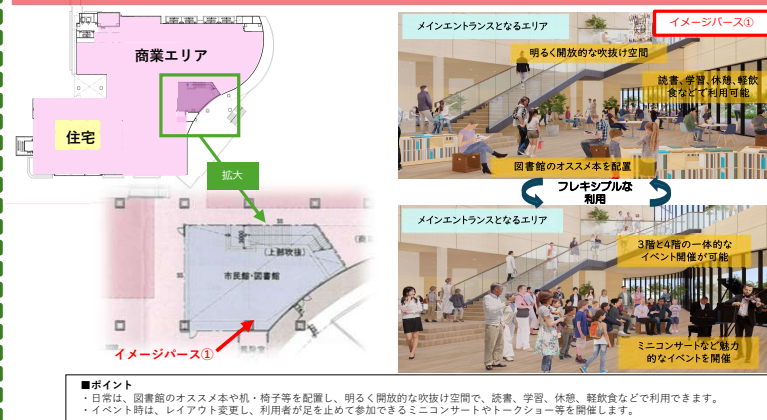
■官民連携について

公共と商業の複合施設は、フロア等により分かれ、それぞれが別々の機能として運営を行うことが一般的ですが、本施設では商業エリアにも市民館・図書館の学びの要素を入れたり、市民館・図書館エリアで商業施設と協力イベントを行うなど、市民館・図書館と商業施設が相互に関わりを深め、官民連携による相乗効果を生み出しながら、施設に訪れる人々が自らの好奇心や探求心を満たし、新たな知識と視点に触れることで、喜びと発見に出会える場とするよう検討を進めています。

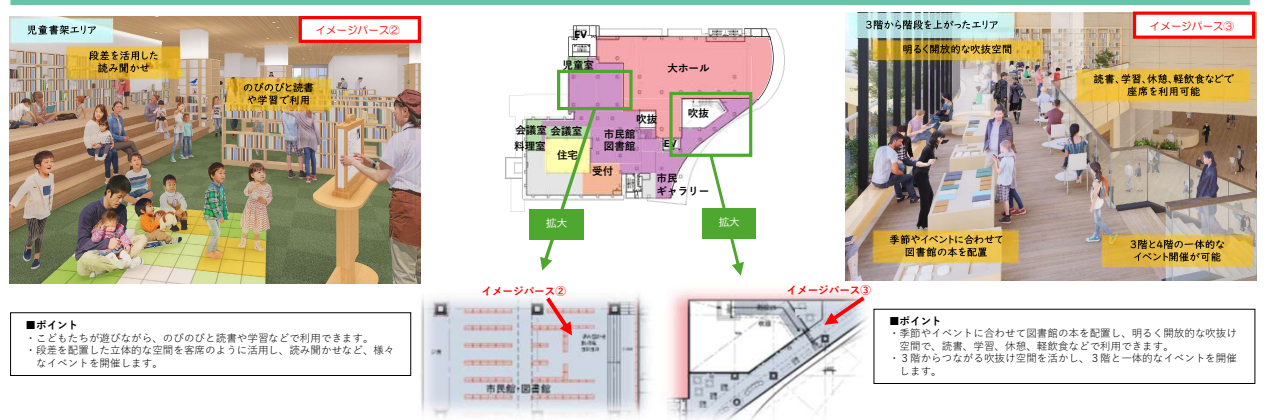


■各階の配置計画について

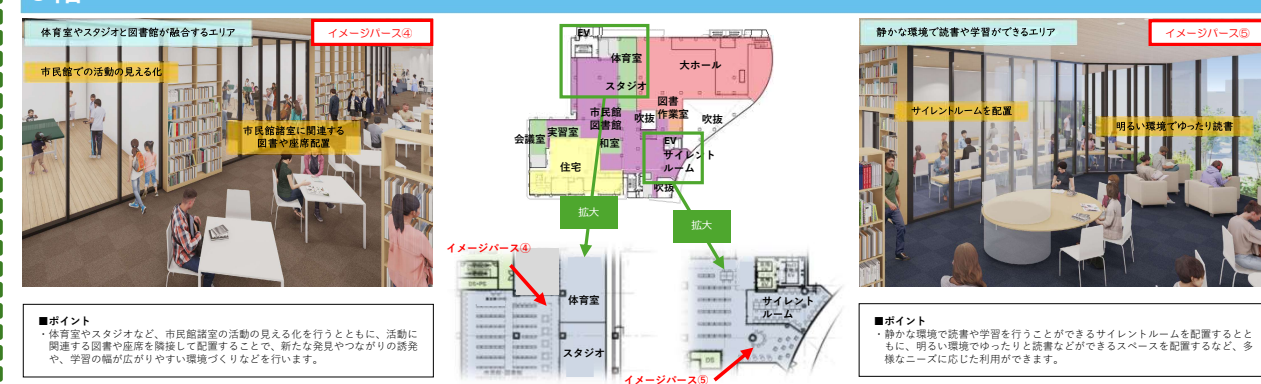
3階 市民館・図書館のメインエントランスで、図書館のオススメ本の配置やイベント開催などフレキシブルに利用でき、官民連携の中心にもなるにぎわいのフロア



4階 様々な項目に対応可能な大ホールや会議室を配置するとともに、気軽に立ち寄って利用できる児童図書コーナーやオープンスペースを配置した、交流と憩いのフロア



5階 体育室やスタジオなど活動のスペースや、一般図書を配置した、新たな発見やつながりを誘発する学びのフロア



4階（北街区） 様々な地域イベントに対応できる小ホールを配置



※配置計画は今後の設計で変更が生じる場合があります。